

## 三好市まちづくり条例を考える市民委員会のまとめ(第6回)

テーマ : まちづくり条例のイメージを共有する  
—どんな条例を目指すか、どんな内容を盛り込みたいか—

### まちづくり条例に対する期待

- 市民全体の幸せにつながる条例にしてほしい
- 「住みよいまち」「明るい将来」のための条例
- 暮らしに密着した内容の条例
- 条例を作って終わりではなく不断のまちづくりが進むような条例
- 条例以外に何か三好市独自の魅力あるものが必要なのでは
- 条例から、市長のビジョン、議会のビジョンが見えるようにすべき

### 前文について—まちづくりのビジョンや目標を盛り込んでほしい

- 色々な町が集まってできたので前文（目標）が大事
- 普通は条文を全部読まないから、前文が大事！
- 市民として三好市はこうあって欲しいという内容を盛り込みたい
- みんなが思っている姿、目標を共有して進めるような内容を盛り込む
- 三好市として活性化していくような「まちのビジョン」が欲しい
- 一人一人が元気に活動して長生きできるまち
- 豊かな自然に囲まれた幸せは続いてほしい
- いいところより、願望や批判を盛り込むべき

### 自治の基本原則、住民自治に関して盛り込みたいこと

- 住民自治と言いながら役所に頼りすぎ、住民の自立的なまちづくりが大事
- 住民と行政の関係、自治体のカタチをビジョンに盛り込むべき
- 役所は住民の方を向いていない [住民自治のシステムができていない]
- 自治会の活性化が必要
- 地域の助け合いを大事にする
- 市民・行政の協力、協働の考え方を大事にする
- 行政と市民がお互いに情報を共有する
- 悲観的な将来に対して皆で助け合うという視点を落としこんでいけばいいのでは

### 行政運営、市役所の組織に関して盛り込みたいこと

- 行政の回答が遅い又は回答がない。行政の説明責任、応答責任について定めるべき
- 縦割りの改善、行政の連絡体制改善
- 住民自治のための行政組織のあり方を見直しすべき
- 支所の継続
- 旧町村単位のまちづくり、自治運営を三好市としてどう統合していくか
- 支所と本庁の関係整理、組織見直し

### 議会に関して盛り込みたいこと

- 議会改革、揚げ足取りの議論ではなく政策の議論をする議会をめざす
- 議会での法案審議手法の見直し
- 市民の方を向いた議会

### 三好市の政策課題

- 子どもが幸せになるようなまちであってほしい
- 限界集落／過疎対策／人口減少（過疎化、少子化）対策
- 人口減少の中で安全安心なまちづくりはどうすればいいか
- 1人、2人暮らしが多い。安心して住めるよう把握が大事
- 中間層が少ない
- 若者の働く場所が必要／三好市に定住できるような就職口を。若者の職場を
- 交流の場を作ることが大事
- 平成版の地域づくり、システムづくり
- 地域の活性化、働く場所
- 観光PRに力を入れて欲しい
- 三好市独自の魅力あるものが欲しい
- 「祖谷そば（登録商標）」を市で買上げ、自由に使えるようにしてほしい

### 策定過程に関する意見

- 「努める」「ねばならない」・・・など、条文の規定の仕方が大事である。こうしたところまで検討すべきではないか
- 議会のまちづくり特別委員会も市民会議の場に参加してほしい
- 議会も、市民の側に立った審議をして欲しい
- 3者が一緒に作っていくのが民主主義のはず
- 最終的に他都市の条例と同じような内容になっても、それまでの過程が重要である
- 市民に広くPRして参加してもらおう工夫が必要ではないか
- まだほとんど関心が低いので、いろいろな手段を講じて広報すべき
- 出張会議で市民の意見を聞く機会をつくるべき